慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	知音を悼む
Sub Title	Souvenirs de ses amis et collègues
Author	森, 英樹(Mori, Hideki)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2004
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. フランス語フランス文学 No.38 (2004. 3) ,p.9- 9
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10030184-20040330-0009

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

知音を悼む

森　英樹

わたしが森昌己さんの知己を得たのは三十数年前で、当時のお宅が茅ヶ崎にあって，わたしもまたその近くに仮寓していたのである。昌己さんは飄々として雲の上を歩いているようで、また世間のことに詳しい不思議な人であったから，世知に疎いわたしはよく電話をかけて、いろいろと教えを乞うたものだった。

わたしがフランス文学と漢文学の交渉をあつかった論文の掲載をはじめると，さっそく Ph. ソレルスの《Le Secret》を見せてくれた。ソレルスはここで仲長統の四言詩に触れていて、わたしは昌己さんのお陰でこの後漢の学者に高逸な詩があることを知ったのである。昌己さんはプルーストにとどまらず、その興味の赴くところが不思議に広い人で，わたしは一鑑を亡くした感を否めない。

今年六月、迫りくるものに対して一種の覚悟を得られたようなさわやかな表情で語られた、本号に載るはずだった論文の未完が惜しまれてならない。